



初出場を果たし、「緊張しませんでした」と大物ぶりを発揮した新井選手⑨ (1月24日)

はばだけ！  
JTサンダーズ広島

竹田 英司

大阪遠征に向かうチームバスに乗り込むと、陳建禎選手が電話していた。話し終わった陳選手に「恋人に電話？」と聞くと「違う、恋人はいないよ、お母さん」と答えた。私が「台湾の女性は美人が多いね。陳さんはまだ結婚しないの」と尋ねると、「自分が持っているエネルギーの全てをバレーボールにささげたので、今は結婚しない」とのこと。



## 勇気と感動届けたい

するとエドガー選手が乗り込んできて、「何の話をしているんだ」と聞いてきたので、私が「いや、日本と台湾の友好関係について」と弁解すると、「そんな高尚な話をしてるようには見えないけどな」と豪快に笑いながら私の肩をたたいて通り過ぎていった。

試合前日の会場練習中に週末2試合の無観客試合が決定され、迎えた土曜日(1月23日)の試合はパナソニックに圧倒されて良いところなく敗退。

日曜日(24日)の試合前、「最高の勇気を 最大の感動を」というチームスローガンを思い出そう、と首脳陣からげきが飛んだ。そのかいあって、同じ敗戦でも視聴者に勇気と感動を与えられる善戦ができた、と自負している。さらに、内定選手の新井雄大選手がVリーグ初出場を果たし、深津旭弘選手の柔らかいトスから初得点も決めた。

勝敗は兵家の常だが、次戦は勝って勝利の喜びをお届けしたい。たとえ負けてもファンの皆さまに「最高の勇気」と「最大の感動」を与えられるチームであり続けたい。

(JT広島マネジャー)